

十勝岳火山砂防シンポジウム

～火山と共生する地域のさらなる発展に向けて～



平成 29 年 1 月 21 日 (土)

13:30 ~ 16:30 (13:00 開場)

美瑛町 美瑛町民センター

◆参加費は無料です。また、事前の申し込み等は必要ありませんので直接会場までお越し下さい。

■主催 / 美瑛町・上富良野町・国土交通省北海道開発局旭川開発建設部・北海道上川総合振興局

■協力 / 北海道砂防ボランティア協会

■後援 / 一般社団法人全国治水砂防協会・公益社団法人砂防学会北海道支部・十勝岳山麓ジオパーク推進協議会

お問い合わせ

国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 治水課
TEL: 0166-32-4245

CPD/CPDS 対象講習会

十勝岳火山砂防シンポジウム

～火山と共生する地域のさらなる発展に向けて～

十勝岳山麓の美瑛町・上富良野町では、1926年（大正15年）に発生した火山泥流により、144名もの人々が犠牲となる大災害が発生しました。莫大な量の硫酸性の泥土と流木に埋もれた郷土に並々ならぬ労苦を注いで、復旧・復興が成し遂げられ、その後、昭和37年より北海道庁、昭和63年からは国直轄による砂防事業が着手されるなど、国と地域が一体となって火山との共生を目指す様々な取組が進められてきました。

本シンポジウムは、大正泥流から90年という節目の年を越えた機会に、我が国の火山災害とその対応を学び、大正泥流の教訓や十勝岳火山砂防の意義を改めて認識した上で、火山と共生する地域のさらなる発展に向けた意見交換を行うことを目的として開催するものです。

●プログラム●

13:00	開場	
13:30	開催挨拶	
13:40	基調講演 「火山地域における土砂災害対策の現状と課題」 国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部長 西山 幸治	
14:30	休憩	
14:40	パネルディスカッション 「火山と共生する地域づくり」 様々な分野からの火山と共生する地域づくりの取り組み をご紹介いただくとともに、今後の展望について意見交換 を行います。 コーディネーター 南 哲行（一般社団法人全国治水砂防協会 常務理事） パネリスト 阿部 豊（独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大雪青少年交流の家 所長、 十勝岳山麓ジオパーク推進協議会 防災教育部会長） 佐川 泰正（上富良野町商工会 会長、株式会社佐川建設 代表取締役社長、 NPO法人環境ボランティア野山人 代表） 柴田 真由美（上富良野町協働のまちづくり推進委員会 委員、インテリア関係自営業） 内藤 美佐雄（一般社団法人美瑛町観光協会 会長、美瑛山岳会 理事長） 小山内 信智（国立大学法人北海道大学大学院農学研究院 国土保全学研究室 特任教授） 巖倉 啓子（国土交通省北海道開発局旭川開発建設部 次長）	
16:20	閉会挨拶	
16:30	閉会	

●会場までのアクセス●

美瑛町民センター 【1階多目的ホール】

北海道上川郡美瑛町寿町2丁目3-13
TEL:0166-92-4141

車でお越しの場合・・・道央自動車道 旭川鷹栖IC
より約1時間～国道237号「美瑛町北町2信号」
を十勝岳方面へ曲り、2つ目の信号を右折、
消防署前を左折すぐ

電車でお越しの場合・・・美瑛駅より徒歩15分

